

1 学年の授業実践

1 単元名「体ほぐし運動」

～みんなでいろいろなうんどうをしてたのしもう～

2 本時の学習

①本時の見所

- ・ゆりかごじゃんけん、たくさんの人とタイミングを合わせてジャンケンする。
- ・「気持ちいいかな」等の声をかけながら、きゅうりの塩もみを行う。
- ・グループで協力して風船リフティングを行う。
- ・振り返りで、体を動かすとどうなるのか気付く。

②学習の様子

導入

南原っ子元気体操



クマ歩き



クモ歩き



展開

ゆりかごじゃんけん



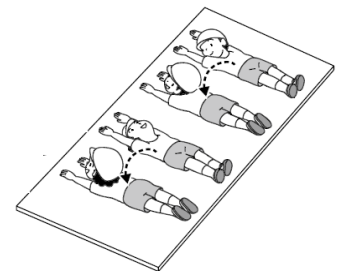
きゅうりの塩もみ



風船リフティング



まとめ



3 授業後の感想

- ペアできゅうりのしおもみをしてたのしかった。
- まるたころがりをしたあとは、とっても目がまわった。
- まるたころがりペアをあわせてできた。
- 足ブラブラがマッサージみたいできもちよかった。
- グループでいっしょにたのしくふうせんリフティングができた。
- ふうせんリフティングが10かいできてたのしかった。
- ちゃんとやるとたのしいってわかってよかった。

4 授業研究会

- 「楽しくするためにはどうするか」を児童と確認し、「仲良く」「笑顔」など具体的に言葉を引き出していたのがよかった。
- 児童のつぶやきがよかった。「気持ちいい」「楽しかった」「温かくなった」「あせをかいだ」
- マットの準備・片付け・移動がスムーズだった。
- まとめの「運動をすると…」で、子どもからのよさを引き出していた。
- (風船リフティング) 上手なグループの紹介後に、再度話し合いの場を設定できると、もっと運動の工夫が見られたのではないか。
- 動きのポイントを確認するとよかった。
- 他のグループのよさを聞く場面では、もう少しゆったり理由を聞いて確認してもよかった。
- 子ども同士の交流では、子ども同士がそれぞれの暖かさを感じるようなものも効果的だと思う。

指導助言

- ・これから期待すること「楽しさの追求」「今後の方向性」「体づくり運動領域の研究を深める視点」
- ・技能の系統表をつくる。(指導の引き出しが増える)
- ・アクティブラーニングを活用した授業づくり

5 学習カードの振り返り

からだほぐしをやってみて、きがついたことに○をしよう。	1回目	2回目
①ともだちとやってたのしかったよ。	92%	96%
②たくさんうごいたあとは、あせをかいていたよ。	100%	100%
③ストレッチをやると、体がのびるのがわかったよ。	88%	100%
④うんどうしたあとは、とっても気もちがよかったよ。	88%	96%

6 成果と課題

- 準備や片付けを協力してスムーズにできるようになってきた。
- 男女間で仲良く活動することができた。
- 運動をした後の体の調子に気づくことができた。
- よい動き方を紹介した後、運動の工夫をするために話し合う時間を設定する。
- 幼稚園との連携し、系統立てた指導の工夫が必要。
- 発問や活動のさせ方を工夫し、遊びの種類を増やす。